



安全データシート

整理番号：67056-E241
作成：2010/07/01
改訂：2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： 3号ソフトパラフィン
会社名： ENEOS株式会社
住所： 〒100-8162 東京都千代田区大手町一丁目1番2号
担当部門： 添付資料参照
(TEL:添付資料参照, FAX:添付資料参照)
緊急連絡電話番号： 添付資料参照
推奨用途： パラフィン
使用上の制限： 推奨用途以外の用途に使用する場合、化学物質専門家等の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

特有の危険有害性： この商品は、記載の法令に該当しますので、該当する法令の内容を確認し
取扱ってください。
可燃性固体類(消防法 指定可燃物)

GHS分類	区分
急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない(区分外)
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3
誤えん有害性	区分に該当しない(区分外)

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語：	警告
危険有害性情報：	眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ又は眠気又はめまいのおそれ
注意書き：	安全対策 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。 眼に入れないこと。飲み込まないこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。



安全データシート

整理番号：67056-E241
作成：2010/07/01
改訂：2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
保管 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。
一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
一度開封した箱は必ず閉じておくこと。

廃棄 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。
不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 化学物質
成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
石油系炭化水素	100	---	既存	既存	通知-170	非該当	非該当

※成分の含有量について企業秘密であるものは範囲で記載。

4. 応急措置

吸入した場合： 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合：

熔融ワックスの場合：

皮膚に付着した部分を水に浸し冷やす（氷水及び氷パックをあてがうのも有効である）。しかし、身体の10%以上を火傷した場合はショックを与えることがある為、前述の冷却処置を行わず、速やかに医師の診断を受ける。

固体の場合：

特に問題はないが、皮膚アレルギー性の作業者が皮膚に異常を認めた場合は医師の診断を受ける。

眼に入った場合：

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
清浄な水で数分間注意深く洗う。



安全データシート

整理番号：67056-E241
作成：2010/07/01
改訂：2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。

その後も洗浄を続け、最低15分間洗浄した後、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：

無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。

口の中が汚染されている場合は、水で十分洗う。

最も重要な徴候症状：

現在のところ有用な情報なし。

応急措置をする者の保護：

情報なし

5. 火災時の措置

消火剤：

小火災：粉末消火剤、二酸化炭素。大規模火災：泡消火剤

使ってはならない消火剤：

棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

特有の危険有害性：

火災によって刺激性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法：

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

容器内に水を入れてはいけない。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置：

消火用器材を準備する。

作業の際には消火用保護具を着用する。

環境に対する注意事項：

下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないよう注意する。

封じ込め及び
浄化の方法及び機材：

乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

下水道、河川、海洋等に流出した場合は、直ちに固化するので、拡散しないうちに回収する。二次災害、環境汚染を起こさない。

二次災害の防止策：

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

容器内に水を入れてはいけない。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。



安全データシート

整理番号：67056-E241

作成：2010/07/01

改訂：2024/01/15

製品名：3号ソフトパラフィン

	<p>指定数量以上の量を取り扱う場合には、火災予防条例準則、市町村条例で定められた基準に従うこと。</p> <p>熱、火花、炎、高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。禁煙。</p> <p>皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。</p> <p>ミストが発生する場合は、呼吸器具等を使用してミストを吸入しない。</p>
局所排気・全体換気：	<p>容器は必ず密閉する。</p> <p>室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。</p> <p>換気装置をつける場合は、防爆タイプを用いる。</p>
安全取扱注意事項：	<p>粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p> <p>熔融時は火傷しない様に注意する。</p> <p>火気厳禁</p> <p>容器を開ける時は、手を切る恐れがあるので、保護手袋を着用する。</p>
接触回避：	<p>ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないよう注意する。</p> <p>ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。</p>
衛生対策：	<p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
保管	
安全な保管条件：	<p>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。</p> <p>保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。</p>
安全な容器包装材料：	<p>保管場所に施錠して保管することが望ましい。</p> <p>強酸化剤から離して保管する。</p> <p>熔融ワックスの貯蔵タンク等の設備はステンレス鋼が最適、銅および銅合金は品質劣化の原因となる。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：	<p>この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、洗顔器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>高温取扱いで、工程で粉塵、ミスト、ヒュームが発生する時は、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。</p>
-------	---



安全データシート

整理番号：67056-E241

作成：2010/07/01

改訂：2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
石油系炭化水素	-ppm -mg/m ³	-ppm -mg/m ³	-ppm -mg/m ³	-ppm -mg/m ³	-ppm 2mg/m ³ (Parafine wax)

保護具

呼吸用保護具： 換気が不十分な場合には、適切な呼吸保護具(防塵マスク)を着用する。

手の保護具： 適切な手袋(不浸透性保護手袋)を着用する。

眼の保護具： 飛沫が飛ぶ場合には普通型眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具： 長期間にわたり取扱う場合または触れる場合には耐油性の長袖作業着等を着用する。

適切な衛生対策： 汚れた衣服は脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

製品

外観 物理的状态：	固体
形状：	固体
色：	淡黄褐色
臭い：	僅かな臭気
融点・凝固点：	62.8(°C)
沸点、初留点 及び沸騰範囲：	初留点-終点 データなし
燃焼性(固体、気体)：	データなし
燃焼の又は爆発範囲：	データなし
引火点：	264(°C)クリーブランド開放式
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	データなし
動粘度：	データなし
溶解度：	水：不溶
n-オクタノール/水 分配係数：	データなし



安全データシート

整理番号：67056-E241
作成：2010/07/01
改訂：2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

蒸気圧： データなし
密度(g/cm³)： 0.793(80°C)
蒸気密度： データなし
粒子特性： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： 通常の条件では安定。
化学的安定性： 通常の条件では安定。
危険有害反応可能性： 酸化剤、強酸類と反応する。自己反応性なし。
避けるべき条件： 長時間加熱、火炎、発火源。
混触危険物質： 酸化剤、強酸類。
危険有害な分解生成物： 二酸化炭素。

11. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）： 区分に該当しない（区分外）
ラットLD50 5000mg/kg以上(基油)

急性毒性（経皮）： 区分に該当しない（区分外）
ウサギLD50 3600mg/kg以上のデータがあるが、区分を判別できないので分類できないとした。

急性毒性（吸入）： 分類できない（気体）
分類できない（蒸気）
分類できない（粉塵・ミスト）
有用な情報なし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 区分に該当しない（区分外）
ウサギ試験でmild及びnot irritatingと評価されているが、ヒト皮膚に適用した試験ではnot irritatingと評価されている。

眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性： 区分2B
ウサギ試験でslightly irritant 及びmild irritantの結果。

呼吸器感作性： 分類できない
有用な情報なし。

皮膚感作性： 分類できない
有用な情報なし。

生殖細胞変異原性： 分類できない
有用な情報なし。



安全データシート

整理番号：67056-E241
作成：2010/07/01
改訂：2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

発がん性：	分類できない IARCによる発がん性名簿にはない。（基油）
生殖毒性：	分類できない 有用な情報なし。
特定標的臓器毒性、単回ばく露：	区分3(気道刺激性) ヒュームで気道性刺激あり。
特定標的臓器毒性、反復ばく露：	分類できない ラットに区分2のガイダンス値以上の用量で2年間混餌投与（5000mg/kg bw）した試験において毒性影響が認められなかったと記載されている。
誤えん有害性：	区分に該当しない（区分外） 有用な情報なし。
その他の情報：	混合物については、情報なし

12. 環境影響情報

製品

生態毒性	
急性毒性：	分類できない
魚類：	有用な情報なし
慢性毒性：	分類できない
魚類：	現在のところ有用な情報なし。
残留性・分解性：	微生物による分解性あり。
生体蓄積性：	現在のところ有用な情報なし。
土壌中の移動性：	現在のところ有用な情報なし。
オゾン層有害性：	分類できない
他の有害影響：	情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。

事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、又は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

投棄禁止。

埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」に定められた基準以下であることを確認しなければならない。

燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うと共に、見張り人をつける。



安全データシート

整理番号：67056-E241
作成：2010/07/01
改訂：2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

14. 輸送上の注意

IATA分類	国連分類：	非該当
	国連番号：	非該当
	品名（国連輸送名）：	非該当
	容器等級：	非該当
IMDG分類	国連分類：	非該当
	国連番号：	非該当
	品名（国連輸送名）：	非該当
	容器等級：	非該当
国内規制：	下記、輸送に関する国内法規制に該当するので、各法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。	
輸送の特定の安全対策及び条件：	陸上輸送 消防法 指定可燃物 可燃性固体類 運送容器及び包装の外部に、品名、数量、危険等級及び「火気厳禁」の表示をする。	
	容器が著しく摩擦または動揺を起こさないように運搬する。 指令数量以上を車両で運搬する場合は、火災予防条例の規定に従う。 固体輸送の場合、直射日光を受け高温になると、溶け出す恐れがある。	

15. 適用法令

消防法：	指定可燃物・可燃性固体類
安衛法：	表示対象物(固形パラフィン)，通知対象物(固形パラフィン)
水質汚濁防止法：	油分排出規制
下水道法：	鉱油類排出規制
海洋汚染防止法：	有害液体物質X類物質 パラフィンワックス
廃掃法：	産業廃棄物規則
船舶安全法：	ばら積み液体危険物 液体化学薬品 パラフィンワックス
海外各国・地域の化学物質規制：	商品に使用している化学物質が、海外各国・地域のインベントリーに収載されていない場合には当該国・地域には輸出できませんのでご留意をお願いします。商品を海外へ輸出される場合はお問い合わせください。

16. その他の情報

安全データシート

整理番号： 67056-E241
作成： 2010/07/01
改訂： 2024/01/15

製品名： 3号ソフトパラフィン

参考文献等： 日本規格協会(JIS) JISZ7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
ICSC(J) (2003)：国際化学物質安全性カード パラフィンワックス ICSC番号1457
JCDB Chem. DB (2006)：安全衛生情報センター 固形パラフィンGHS対応MSDS
IUCLID (2000)
RTECS (2003)
PATTY 5th (2001)
ICSC (2003)：WHO/IPCS International Chemical Safety Cards ICSC1457
EHC 20 (1982)
ACGIH (2006)
GHS分類結果 (第三回公表分、2006. 4. 28) ID720固形パラフィン
P. Shubik et al.：Toxicol Appl, Pharmacol. , Suppl, 4, 62(1962)
A. O. Hanstveit：TNO Report, Netherland orga, for Appl, Resear(1990)
日本ワックス工業会：“ワックスの生分解性について” 会報 第13号, 4~34 (1995)

免責文： 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者を提供されるものです。
取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。
従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。